

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フェリチタ		
○保護者評価実施期間	2026年6月1日 ～ 2026年6月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2026年6月1日 ～ 2026年6月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 7 月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童指導員が非常勤も含め、全員が有資格者。(年数だけで任用資格を得た指導員は一人もいない) ・児童指導員は、放課後等デイサービスだけでなく、学校の教員や、移行支援等の経験があり、現在の学校での問題や進路についても精通している。	・児童指導員の採用について厳しい条件を設定している。	・職員の幅広い研修
2	・5領域の支援を行うにあたり、毎日の時間割を決め、計画的に支援を行っている。また、日常的な支援以外に、外部の専門講師を招いての行事や外出活動など、豊富な活動を行っている。	・外出活動(図書館、博物館、レストラン、文学館、社会福祉協議会主催の催しへの参加、動物愛護センター、地域清掃等) ・行事(オンライン英会話、茶道教室、写生会、映画会、買い物学習等) ・就業体験	・今後も幅広く、充実させていく。
3	・受験や進路指導ができる。(都立、私立、企業)	・児童指導員が特別支援学校の就業技術科、職業能力開発科の選考に精通しており、保護者に説明ができる。 ・非常勤やボランティアで、私立高校の教員に来てもらっている。 ・児童指導員は移行支援の経験もある。 ・本社会長が経営コンサルタントであり、企業の管理職面接や、採用面接なども行っているため、受験や就労を目指している児童の面接練習も行っている。	・今後も受験や企業就労について、学校や企業と連携していく。 ・基本的に必要なのは話し込み教育ではなく、自立する力をつけていくことを今後も伝えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎がない	・フェリチタは将来的に企業就労と特別支援学校受験に特化しているため、自立を目指すという点から送迎は必ずしも必要ではないと思っている。	・低学年のお子さんは遠かったり交通機関を使うことの大変さはあると思うので移動サービスについてご紹介しているが、ちょうどよい空きがあるとは限らない。
2	・「体調不良・疲れ・風邪気味」欠席が多い。	・送迎がないため、送迎の保護者の方が疲れてしまう。	・入所時に、一人で通えない場合の保護者の体力的な負担についてあらかじめお話ししている。 ・高学年については、高熱等のおやすみでない場合は今後、受験や就労に向けて体調管理の大切さをお話ししている。
3	・知名度が低い(特に自事業所を必要としている方への)	・フェリチタは他の放課後等デイサービスと内容がかなり違うが、そもそも学校の先生方の放課後等デイサービスについての認識が低いところが多い。	・学校訪問等により学校の先生方とお話しする機会を増やし、世田谷区、杉並区、調布市ともお話をしているので、最近では自事業所の内容を理解してくださって、入所のご相談を受けることが増えた。